

鉄道駅における安全対策の推進に関する要望書

鉄道駅における安全対策のための整備促進が進められている中、本年11月29日、本区内の東京メトロ東西線東陽町駅にて、視覚障害者の男性がホームから線路に転落し、死亡するという大変痛ましい事故が発生した。

国は、公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化推進ガイドライン（バリアフリー整備ガイドライン旅客施設編）を示しているところであるが、ホームドア設置等の安全対策については、駅構造などの課題を踏まえつつ推進している途上であり、なお時間を要する見込みであるものの、本区として、国や都、各鉄道事業者と協力して、種々の安全対策を進めてきているところである。

事故後、国においては、木目細かな分析に基づき再発を防止していくこと、整備ペースを加速化することに言及されており、本件の事業者におかれては、警備員の増員や音声装置の設置、ホームドア稼働時期の前倒し等の対応を取られている。

本区議会としては、今後、本件のような悲惨な事故を防止するため、区民や利用者の皆様の命を守ることが最優先であるという強い決意の下、行政や各鉄道事業者と連携しながら、引き続き安全対策を推進する所存である。また、区民の皆様にも「声かけ・サポート」運動の趣旨に沿ったお願いをし、ともに支え合い、全ての区民が、互いに人格や個性を尊重しながら、地域で安心して暮らすことのできる共生社会の実現に向けて取り組んでいく決意である。

よって、本区議会は、各鉄道事業者におかれては、ホームドア設置をはじめ、視覚障害者用誘導ブロックの設置箇所の再検討や音声案内等、事故防止に向けた安全対策を更に推進するよう要望するものである。

令和2年12月28日

江東区議会議長 若林 しげる

東日本旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社
東武鉄道株式会社
東京臨海高速鉄道株式会社
東京都交通局
株式会社ゆりかもめ

} 宛て